

Q & A 患者さんからの質問箱

心臓カテーテル検査直後の透析

Q1 心臓カテーテル検査直後に、造影剤を除去する目的で血液透析を行う必要はありますか？(80歳、男性、透析歴5年)

A1 ESUR（欧州泌尿生殖器放射線学会）のガイドラインにあるように、原則的には心臓カテーテル検査直後に合わせて血液透析を行う必要はありません。むしろ、心臓カテーテル検査直後に血液透析を行った場合、透析中に血圧が低下することがよくあります（造影剤の急速な除去による急激な血清浸透圧の低下によると考えられます）。また、透析中の抗凝固薬の使用により、心臓カテーテル検査の際に穿刺した場所から出血を起こしやすいこともあり、危険ですらありま

す。したがって、心臓カテーテル検査翌日に血液透析を行うほうが無難といえます。

ただし、緊急の心臓カテーテル検査が行なわれる時には、体液の過剰や電解質の異常を伴っていることが多く、直後の透析によりこれらの異常を補正する必要があります。特に、患者さんの血圧が不安定であれば、積極的に持続緩徐血液（濾過）透析*を実施することによって生命予後が改善できることが示されています。

（林 晃正／大阪府立急性期・総合医療センター・医師）

* 持続緩徐血液（濾過）透析法：心臓の働きが低下していたり、敗血症などを合併している場合には、通常の血液透析では血圧がすぐに低下して、透析を続けることができません。一方、通常の透析よりも時間をかけて（例えば24時間）、血流量100 mL/分・透析液流量30 mL/分と効率を下げて（通常の透析では血流量200 mL/分、透析液流量500 mL/分）、透析（と濾過を組み合わせる）を行うのが、持続緩徐血液（濾過）透析です。

無症候性心筋虚血

Q2 透析中は心筋への血流が低下すると聞きましたが、本当ですか？(76歳、男性、透析歴10年)

A2 透析中に血圧が低下しやすい患者さんでは、その原因として、透析

中の除水に伴い、心筋の血流がところどころで低下し、同時に心臓の動きも低下すること